

【証憑の示し方】

育成プログラムの申請にあたっては、申請書の登録の他に次の各種資料を事務局へメール添付にて送付、もしくは郵送してください。

(郵送の場合、(1)、(2)、(4)は3部、(3)は1部、送付してください。)

- (1) プログラム構成と修了要件が確認できる資料
- (2) 講義内容が確認できる資料（授業計画書や使用教材等）
- (3) 組織概要を示すもの（パンフレット等）
- (4) 申請いただいたエクセルシートを印刷したもの（郵送書類のある場合に添付）

ここでは、上記のうち「(1) プログラム構成と修了要件が確認できる資料」及び「(2) 講義内容が確認できる資料（授業計画や使用教材等）」について説明します。

（1）プログラム構成と修了要件が確認できる資料

「プログラム構成と修了要件（作成例）」(3ページ)に示すとおり、食の6次産業化プロデューサー育成プログラムに関係する科目の全体像を把握できる資料を作成してください。

- ・申請書「自己評価票」に記載した「提供科目名」はすべてここに記載するとともに、下記(2)「講義内容が確認できる資料」を添付してください。

必須項目：科目名、実施時期、実施場所、講師名、講師の所属、プログラム全体の修了要件

（2）講義内容が確認できる資料（授業計画書や使用教材等）

【授業計画書】

➤ 科目毎の学習計画書（シラバス）がある場合

申請書「自己評価票」に記載した「提供科目名」の学習計画書（シラバス）をもって証憑とします。

- ・受講生に配布するものと同じもの、もしくは、該当箇所の写しを送付してください。
- ・申請書「自己評価票」の該当箇所（申請書記入ガイド*STEP1～STEP3の箇所）に内容を転記してください。

➤ 科目毎の学習計画書が無い場合、これから準備される場合

申請書「自己評価票」に記載した「提供科目名」の授業について、「科目毎の学習計画書（作成例）」（4ページ）に例を示すとおり、授業の概要資料を作成していただき、この提出をもって証憑とします。

- ・様式の指定はありませんが、例に示すとおりわかりやすくパターン化された資料を作成してください。
- ・申請書の記載内容と照合しますので、必ず「ページ番号」を入れてください。
- ・作成した「科目毎の学習計画書」の内容に基づいて、申請書「自己評価票」の該当箇所（申請書記入ガイド**STEP1～STEP3の箇所）を記入してください。

必須項目：授業実施年度、科目名、使用教材、主な学習内容（各回授業の概要）、ページ番号

【使用教材等】

レベル1「6次産業化論」は、講義資料のコピー等を提出してください。

また、次の2つの条件に当てはまる場合は、申請書「自己評価票」に補足説明を記入し、講義資料のコピー等を提出してください。

- 科目毎の学習計画書（シラバス）があり、これを証憑とする場合
- 証憑に、学習内容認証基準の「単元」を扱っていることが示されていない場合（「科目毎の学習計画書」を新たに作成される場合は、「単元」を意識して記載してください。）

※「申請書記入ガイド」はログイン後、ダウンロードができます。

<各種資料の送付先>

E-mail:info@facp.or.jp

(4MBを超える場合は、事前に事務局までご相談ください。)

〒114-0024 東京都北区西ヶ原 3-1-12 西ヶ原創美ハイツ 2階

「一般社団法人 食農共創プロデューサーズ」認証担当宛

(資料が大量の場合は、事前に事務局までご相談ください。)

プログラム構成と修了要件（作成例）

科目名	実施時期	実施場所	講師名	講師の所属
食農産業概論	H25年4月	●●セミナールーム	A	◎◎大学 准教授
農業経営基礎	H25年4月	●●セミナールーム	B	▲▲コンサルティング
食品衛生概論	H25年4月	●●セミナールーム	C	・・・
栽培実習	H25年4月	●●セミナールーム 実習圃場××	D,E,F	・・・
食品加工	H25年5月	●●セミナールーム 加工実習場■	G	・・・
食品流通	H25年6月	●●セミナールーム △△市場（視察）	H	・・・
・・・				

□プログラム全体の修了要件

この課程を修了するには次の要件を満たす必要がある。

- ①受講生に毎回（パートごと）課題を示しレポートの提出を求める。評価○以上を合格とする。
- ②出席率80%以上。欠席者にはレポート提出を課す。

Sample

科目毎の授業計画書（作成例）

既存の学校・学科等での必修・選択の設定は問わないが、食 Pro.の育成プログラム修了者は受講必須。

①申請書記入ガイド STEP1
「単元充足」の「提供科目名」に記入。

平成25年度	学科・学年	△△学科 1学年	必修・選択	必修
科目名	食農産業概論		単位数	2
担当講師名	六次田 太郎		時間数	90分
講義場所	〇〇県△△市		講義形式	座学
使用教材	食農産業必修テキスト（●●社）		その他 授業で 使用する物	—
副教材	—			

1. 科目の学習目標・内容・方法について

目 標	我が国の食と農の関連産業を取り巻く状況について、特に6次産業化に関する内容を中心に、基本的な知識を身につけることを目指す。
主な学習内容	1) 2) 6次産業化の定義、目的、メカニズムについて概説する。 3) 4) 5)
学習の方法 (留意点)	・教科書を使った座学を中心に授業を進める。 ・定期考査は2回行い、小テストも行う。

②申請書記入ガイド STEP2
「単元充足」の「具体的に単元の内容を取り扱う授業名/コマ」に記入。

2. 評価方法・配点

評価方法	配点
出席（小テスト）	30%
中間試験	30%
期末試験	40%

3. 「食の6次産業化プロデューサーズ」プログラム認証に対応する科目

対応する科目名	レベル	対応する講義時間数
農産物と水産物	1	60分

③申請書記入ガイド STEP3
「証憑」の「確認資料名」に「科目毎の学習計画書」と記載し、「記載箇所」にこのページ番号を記入。

資料のページ番号

認証要件の必要履修時間数ではなく、プログラム認証に対応する科目として実施する講義時間数を記入。